

## 生活介護事業所第2みらい 令和元年度事業報告

### 【概況】

まず法人全体として、今年度は第1次中長期計画の最終年度にあたるため、第2次中長期計画の策定にかかる検討委員会を立ち上げ、第1次中長期計画の総括と第2次中長期計画の策定を行いました。また、虐待防止委員会においては、任期の2年が経過し、この間に防止マニュアルや研修要綱の作成などを行いました。

次に本事業所においては、上半期に社会福祉施設等施設整備費補助事業（大規模修繕）を利用し、建物の大規模改修を行いました。職員確保が困難な状態は続き、平成31年4月に入職した正職員が8月に退職をするなど、職員の定着についても課題となっています。健康診断の受診については、なかなか受診先が決まらない中、豊中あいわ苑診療所様に受け入れていただき、10月下旬から実施することができました。年度末には新型コロナウイルス感染症の影響により、第2みらいフェスティバルの開催中止や様々な活動の制限などを余儀なくされました。

1. 利用状況について、5月に1名、10月に1名が退所され、在籍者は43名となりましたが、出席率は90.6%と前年度とほぼ同様で、1ヶ月の平均利用者数は39.2名でした。利用者が減少する中において出席率が下がらなかった要因として、退所された方の出席率が低かったことや、利用者の長期欠席が少なかったことが考えられます。

2. 支援については、ご家族の高齢化に伴い、生活環境に変化のある利用者が増えてくる中、母親が亡くなられたことにより単身となられた方の今後の生活について、どのように支えていくことができるのか、法人全体で検討を行いました。ご家族が亡くなられたあとの「単身での在宅生活」というニーズに応えるため、地域の方や後見人、関係する福祉サービス事業者などとの支援体制の構築を図りました。グループホームを利用されている方は昨年度同様22名と、第2みらい利用者の半数以上を占めており、ホームとの連携は今後も更に重要となってきます。平均障害支援区分も前年度と同様の5.24でした。個々のニーズによりきめ細やかに対応すべく、引き続き小グループでの支援を実施しました。

3. 生産活動については、取引を終了した内職業者が1件ありました。自主製品のアクセサリーの販路開拓が難しいところですが、ご家族等への認知が広がり収入増に繋がりました。工賃の支払い実績は、一人当たりの平均工賃月額が1,218円で、前年度と比較し-103円となりました。作業収入は約85万円で、前年度と比較し約2万円の減収となりました。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

1. 利用者状況（令和2年3月31日現在）

(1)在籍状況 男性 31人 女性 12人 合計 43人  
 (平均年齢) 男性 42.16歳 女性 46.25歳 全体 43.37歳

(2)推移状況（各月初値）525/552 年間在籍者数95.1% 出席率90.6%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372
女性	14	14	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	153
合計	45	45	44	44	44	44	44	43	43	43	43	43	525

\*利用者の異動

【入所】

なし

【退所】

5月…女性1名 10月…女性1名

(3)障害状況

①療育手帳

②身体障害者手帳（重複）

	男性	女性	合計
A	31	12	43
B1	0	0	0
B2	0	0	0
合計	31	12	43

	男性	女性	合計	部位
1級	1	0	1	肢体、内部
2級	1	1	2	肢体、平衡機能
3級	2	0	2	内部、言語等
4級	5	4	9	言語・そしゃく
合計	9	5	14	

③障害支援区分(平均障害支援区分 5.24)

区分	男性	女性	合計
3	0	0	0
4	5	1	6
5	15	4	19
6	11	7	18
合計	31	12	43

## 2. 日課・週間プログラム

### 【日課】

午前		午後	
9:00~10:00	登所(時差)	13:30~14:30	作業
10:00~10:30	朝礼体操等	14:30~15:30	休憩
10:30~12:00	作業	15:30~	降所(時差)
12:00~13:30	昼食・休憩		

\*グループや個人により時間に違いがあります。

### 【週間プログラム】一例(個人により作業時間等プログラムは異なる)

	月	火	水	木	金	土・日
午前	屋外活動	作業 陶芸	作業 公園清掃	ウォーキング	作業 織り	余暇支援 休み
午後	音楽療法	作業 ウォーキング	プール	口腔ケア 機能訓練	華道 活動	余暇支援 休み

## 3. 職員体制等

### (1) 職員体制

常勤職員： 管理者(1) サービス管理責任者(2) 生活支援員(7)

非常勤職員： 支援員補助(8) 運転手(4) 医師(1)

看護師(1) 作業療法士(1) 事務職員(1)

業者委託： 送迎運転手(1) 送迎添乗員(2) 調理師(1) 調理員(2)

## 4. 建物・設備維持管理

### 【定期点検】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
空調設備			11						10			
害虫駆除	8		13		7		7		12		13	
E V				5			11			28		
自動扉	15			2			16			21		
消防設備			19						9			
電気設備		24		11		12		14		6		19
定期清掃						28					29	

\*表中の数字は、実施日

## 【その他】

(大規模改修)

7月16日～9月30日

(その他の改修等)

5月24日 自動ドア修理

5月25日 埋設排水管漏水調査

6月18日 トイレ修理 (2F 身障者用)

7月 7日 トイレ修理 (3F 男子)

8月 3日 3F エアコン増設・事務所流し台等修理

10月21日 トイレ修理 (1F 男子、3F 女子)

1月 9日 エアコン修理 (1F)

2月 5日 2F 網入りガラス入替工事

※ 設備管理業者：株式会社ビーエム大阪

## 5. 車両・送迎管理

今年度もバス・キャラバン2台(リース車両)及びキャラバン・ステップワゴン・ハイゼット(事業所所有)の6台で送迎等の運行を行った。リース車両を導入したことにより、車両管理の負担が軽減された。事業所所有のキャラバンについては老朽化に伴い、故障が頻発するようになってきた。今後の車両入替も検討する必要があると考えている。

送迎については、利用者の環境変化に応じ、その都度、柔軟に送迎コースの変更を行い対応した。

### 【車両管理等】

	キャラバン	ステップ	ハイゼット
6ヶ月点検	元年9月	元年9月	2年1月
定期点検			
車検	2年1月		

※ 上記とは別にバス及びキャラバン2台をリース車両として保有。

### 【修繕等】

4月23日 キャラバン：タイヤ交換

5月24日 キャラバン：オルタネーター交換

5月31日 赤キャラバン：バックドア交換

9月21日 キャラバン：ラジエター修理

3月28日 キャラバン：エアコン修理

1月23日 赤キャラバン：テールランプ修理

## 【車両事故】

- 5月17日：豊中駅から国道176号線へ左折中、自転車と接触。  
5月31日：猪名川公園の駐車場にバックで駐車する際、木に気づかず衝突。  
6月6日：第2みらい駐車場にバックで駐車する際、左前方をポールに接触。  
6月17日：第2みらい駐車場に前進で駐車する際、隣家の駐輪している自転車に接触。  
6月29日：第2みらい駐車場より左折で出庫する際、左側面がポールに接触。  
8月21日：送迎中、車両を転回する際、車両後方がガードレールに接触。  
1月22日：ショッピングモール駐車場にバックで駐車する際、柱に気づかず接触。  
2月12日：第2みらい駐車場より左折で出庫する際、左側面がゴミ置き場に接触。

※ 上記8件は、いずれも運転手の不注意によるもので、運転手に対し厳重注意を行うとともに、事故報告書にて他の職員に対し注意喚起を行った。

## 【送迎管理】

### (1)通常送迎

マイクロバス（29人乗り）：市内循環（豊中全域）・朝夕各1便

＊(株)ジャパン・リリーフへ車両管理請負業務として委託

キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中北部・伊丹）・朝夕各1便

青キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中北部）朝夕各1便

赤キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中中部）・朝夕各2便

ステップ（8人乗り）：市内循環（豊中中部・北部）・朝2便、夕2便

ハイゼット（4人乗り）：伊丹便（夕1便）、ショートステイ便

＊添乗業務は車内の状態把握及び利用者対応のため支援員が実施。

＊行事の際には特別ルート及び時刻表に基づき運行。その他、諸事情による乗降場所の変更などにも柔軟に対応。

### (2)別便送迎

特別送迎延べ利用回数 100回（前年比+4.1%）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特別送迎	8	6	10	8	8	10	9	8	7	12	7	7
ショート等	70	82	96	125	118	92	99	105	92	98	67	74
合計	78	88	106	133	126	102	108	113	99	110	74	81

特別送迎の利用回数は、前年度とほぼ変わりなく、その多くは歯科通院での利用であった。ショートステイ送迎（通常送迎）については、利用回数が大きく増加している（793回→1118回、月平均93回）。ご家族が亡くなられたことにより長期間ショートステイを利用された方がおられたことによるものである。

## 6. 年行事等

月/日	行事名	行先・場所	特記事項等
5/9.16	いちご狩り	川西（カラット）	フロアごとに実施
6/15	素のままフェスタ	アクア文化ホール	
7/15	選択余暇 （BBQ）	フルーツフラワーパーク	
11/16	農業祭・環境展	豊島公園・豊島体育館	
12/7	選択余暇（動物・ ボウリング）	・ふれあい動物園アニパ ・アルゴセブン	
12/19	クリスマス会	第2みらい	
1/13	選択余暇 （電車）	神戸電鉄 鍛冶屋線市原記念館見学	
3/7	第2みらい フェスティバル	第2みらい	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	1泊旅行	滋賀、奈良、京都、舞洲 堺など	年間を通してグループごとに実施
	グループ活動	外出、買い物、調理など	各グループ、年間3回実施

その他、グループごとに外出や給料日の取り組み（買い物など）などの活動を行った。今年度も利用者それぞれに合った行事の取り組みが出来るよう、行事を細分化して実施した。1泊旅行についても小グループで実施し、それぞれのニーズに応じた企画を実施することが出来たのではないかと考えている。実施時期については、昨年度は9月～10月に実施したが、体制やスケジューリングがタイトであったため、今年度は1年を通じて実施した。

## 7. 余暇活動等

### (1) 開催内容

#### 金曜活動

- ・ リズム体操：月2回、（講師）辻村恵美子
- ・ 茶 道：月2回、（講師）橋本喜久子、生越夕紀子
- ・ 華 道：月2回、（講師）高橋美智代

#### その他の活動

- ・ 音楽療法 : 月 1 回、(講師) 佐藤信子
- ・ ダンス : 毎週月曜日、(講師) 辻村恵美子

#### (2) 障害者青年教室

豊中市教育委員会の補助制度を活用(講座 3 千円の助成額)。趣旨は生涯学習の視点から障害のある青年が常に生きる喜びを持ち、社会的教養の向上と自主性・社会性の養成を図ること。

- ・ 陶芸 : 毎週火曜日、(講師) 崎原敦子

### 8. 健康管理・給食

#### [健康管理]

- ・ 健康相談 : 月 2 回、嘱託医が来所。その他、ご家族からの相談や健康診断の所見などもいただいた。相談を受けた内容は連絡帳を通して、ご家族に報告している。
- ・ 健康診断 : 10 月～11 月にあいわ苑診療所で利用者 38 名が受診。平成 30 年度までは山口記念診療所で行っていたが、同院が閉院となったため、今年度よりあいわ苑診療所にて受け入れていただいた。今回は胸部レントゲン検査が行えなかったため、次年度以降もレントゲン検査については課題となっている。
- ・ 予防接種 : 11 月に第 2 みらいにて 35 名が接種(インフルエンザ)。健康診断と同様に山口記念診療所閉院により、嘱託医である宮澤 Dr により、第 2 みらいの医務室にて実施した。
- ・ 訪問歯科診療 : 委託業者(すまいる)  
歯科医師 1 名、歯科衛生士 4 名  
毎週木曜 PM (月 4 回上限)  
受診者数 : 27 名

#### [給食]

- ・ 委託業者 : ナフス(株)
- ・ 給食会議 : 月 1 回、委託業者・管理栄養士・法人職員が参加し、検食簿に基づく意見の交換や季節感のある食事の提供に努めた。
- ・ 嗜好調査 : 年 2 回実施(10 月、3 月)  
調査結果を給食の献立や肥満対策に反映するように努めた。

## 9. 防災

	月/日	内 容	参加人数	備 考
1	8/1	総合訓練	70 人	通報・避難誘導・消火
2	11 月	非常食の試食	70 人	
3	3/13	避難訓練(地震)	70 人	通報・避難誘導

非常災害対策として火災を想定した避難訓練を行った。特に総合訓練では利用者の避難だけでなく、職員が有事の際に落ち着いて対応できるよう、実際に消火器を使用して訓練を行い、危機管理意識の向上に努めた。また、事業所に備蓄している非常食を昼食として利用者に提供し、試食をした。アルファ米や缶詰のカレーなどであったが、食べる際には相当な手間を要することが分かったので、次の非常食については、もっと簡易に食べることができるものにした。

## 10. 活動支援の取組み

第2 みらいの運営方針、支援方針に基づき令和元年度の支援を次の通り行った。

- ①個別支援計画を基に日常生活上必要な介護、支援、相談、助言等を行った。スケジュールについては自己選択の機会として面談時に調整し、その上で活動内容を実施した。
- ②障害特性、ニーズに基づいた小グループ化（6グループ）を図り、より個々に適したプログラムを提供できるように環境整備に取り組んだ。そのことで情緒面の安定に繋がったと考えている。
- ③作業療法士による機能訓練を行い、身体機能の低下予防、運動機能の維持・向上に努めた。実施回数については、作業療法士の都合がつかず、実施できない月もあった。

### (1)作業支援

利用者のエンパワメントを高める観点から、引き続き様々な作業を行った。長年取引のあった新谷製作所様とは納品方法について認識の違いがあったことや遠方まで納品に行っていたこと、収入の低さなどの理由により、今年度をもって取引を終了した。しかし、収入の面においては昨年度とほぼ変わりなく推移している。自主製品については、一昨年度から取り組み始めたアクセサリーの販路は開拓できていないが、ご家族等への認知が広がり収入増に繋がった。しかし、製作することのできるスタッフが限られていることや、利用者の作業化についてが販路を含め課題となっている。



- 軽作業
    - 「ヒノモト商会」ねじ部品の袋詰め
    - 「ワーキングサービス（旧ネットワーク）」緩衝材の袋詰め
    - 「豊中市障害福祉課」刻印作業
    - 「新谷製作所」バリ取り
    - 売り上げ…約 25 万（前年度比±0 万円）
  - 屋外作業
    - 散水業務農園、アルミ缶回収、洗車
    - 売り上げ…約 34 万（前年度比－7 万円）
  - 自主製品
    - アクセサリー、陶芸、雑巾他
    - 売り上げ…約 26 万（前年度比+5 万円）
- 全体
 【作業収入】 約 85 万(前年度比－2 万円)  
 (内訳：アルミ缶収入 40%、軽作業 29%、自主製品 31%)

## (2) 生活支援

グループホームを利用されている方は昨年度と同様 22 名となった。第 2 みらい利用者の半数以上を占めており、ホームとの連携は更に重要となってきている。また、ご家族が亡くなられたあとの自宅生活のニーズに応えるため、地域の方や後見人、関係する福祉サービス事業者などとの支援体制の構築を図った。

- 日中一時支援
  - 延べ利用者数…15 名（前年度比－20 名）
  - 延べ利用時間…15 時間（前年度比－43 時間）
  - ご家族の都合等で所定の時間に送迎することが困難な場合に、時間を延長し支援した。緊急時は外食、特別送迎等の提供で出来る範囲で家族支援を行った。昨年度より実績が大きく減少している要因は、週明けの朝に利用されていた方が、週末をグループホームで過ごされるようになったことや利用者の退所によるものである。
- 入浴サービス
  - 入浴サービスの利用はなかった。しかしながら、今後もニーズに応じて対応していきたいと考えている。

## 11. 広報・地域活動・実習

### (1) 広報関係

#### 【広報誌 MIRAINI の発行】

年2回、ご家族はもとより、関係機関や関係者に配布し、広く啓発活動に努めた。

	号	発行日	部数
1	第28号	7/26	300
2	第29号	3/19	300

(2) 地域活動として自治会や近隣の福祉施設、障害者団体等との交流を図りながら、豊中市啓発活動委員会の企画・運営に参画している(素のままフェスタ)。また、豊中市みどりの交流会活動の運営・企画に積極的に参加(月1回定例他)し、園芸の育苗活動をともに行う中で各地域との連携を図った。

### (3) 実習・ボランティア関係

啓発・人材育成・施設サービスの客観性を判断するため、実習の受け入れを実施している。

所属団体	実習目的	人数	日数
一般	ボランティア	4	4
豊中施設長会	施設間留学研修	1	2

## 12. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決する窓口として苦情受付担当者を1名配置。苦情は意見箱をはじめ家族会の場や連絡帳等でも受け付けた。今年度の苦情は下記のとおりである。その都度対応するとともに、家族会等での報告、職員への供覧などにより周知した。また第三者委員会にも報告をした。

\*第三者委員会：令和元年9月24日(火)15:00～  
令和2年3月3日(火)15:00～

申立人	苦情内容趣旨	対応
ご家族	<p>苦手なスタッフや利用者があることで、子供が出席拒否をすることが増えてきたため、3月末に主任へそのことを伝えたが、その後、特に反応がなかった。4月に入り、前述の状況を伝えていたため担当スタッフが変わると思っていたが変わっておらず、出席できなくなりました。何故、何も対応してくれなかったのか？</p> <p>その他、グループのリーダー職員に対しても、様子伺いの連絡がないことに不満を感じる。</p>	<p>申し立て当日、謝罪をさせて頂いた。ご本人が会える状況であれば、施設長と担当職員で家庭訪問をしてお話しをお伺いさせていただくことをお伝えした。</p> <p>また、担当職員からご自宅へ連絡を入れ謝罪を行ったうえで、今後は積極的に働きかけていくことを提案させていただいた。</p>
ご家族	<p>台風時の送迎に関する一斉メールをもらったが、送り先のメールアドレスが全て分かってしまう状態であった。送り先が分からないように設定してほしい。</p>	<p>ご連絡いただいた方に直接謝罪を行い、別の方法でメールを送信することをお伝えした。</p>
一般	<p>合流地点で強引な車両の割り込みがありぶつかりそうになった。割り込んだ後、手を挙げて合図はしていたがそのまま追い越し車線の方へ移り走り去って行った。危険な運転だった為、安全な運手をしてほしい。</p>	<p>苦情を受けた後に事実確認を行い、改めて申出者に連絡を入れ謝罪を行った。また、職員会議にて、遅れが出た際は次の利用者のご家庭にご連絡を入れる事、そして連絡を入れているので運転手には安全に運転して頂けるように伝える事の重要性を再確認。</p>

### 13. 職員研修・会議等

#### 【職員研修】

月日	研修名等	主催	場所／会場	参加者
4/13	オープニングセミナー	自閉症 e サービス	メルパルク京都	高橋
通年	e カレッジ	自閉症 e サービス	bon キッズ谷町	清水
5/14	ビギナーズ講座	自閉症 e サービス	JEC 日本研修センター十三	清水
5/26	すみすみ研修	ライフサポート協会	住吉総合福祉センター	高橋
6/1	ハートフォーラム「自閉スペクトラムと強度行動障害」	NHK 厚生文化事業団 近畿支部	アルカイクホールオクト	高橋
6/15	初任者の為の実技研修	自閉症 e サービス	社会福祉指導センター	清水
6/30	日本ダウン症療育研究会	日本ダウン症療育研究会	大阪医科大学 看護学部講堂	田村
通年 (全 5 回)	門塾	自閉症 e サービス	社会福祉指導センター等	田村
7/8.23	障がい児者施設過程 (通所コース)	大阪府社会福祉協議会	社会福祉指導センター	清水
7/23.24	てんかん基礎講座	日本てんかん協会	大阪商工会議所	富永
7/26	法人全体研修	虐待防止委員会 研修委員会	第 2 みらい	全職員
9/25 10/1	強度行動障がい支援者養成 研修	大阪府障がい者自立相談支援センター	たかつガーデン等	高橋
10/25	法人全体研修	虐待防止委員会 研修委員会	第 2 みらい	全職員
11/6	障がい者虐待防止・権利擁護 研修	大阪府福祉部障がい福祉室	ビッグアイ	田村
12/9.12	強度行動障がい支援者養成研 修 (実践編)	大阪府障がい者自立相談支援センター	たかつガーデン	高橋
12/20	法人全体研修 (虐待防止)	虐待防止委員会	第 2 みらい	全職員
1/17	法人全体研修	虐待防止委員会 研修委員会	みらい	全職員

1/28	多機関協働による支援会議の ススめ	豊中市・豊中市社会福 祉協議会・一般社団法人 キャリアブリッジ	豊中市立文化 芸術センター	田村
2/22	ダウン症ワークショップ(実践 報告会)	一羊会	西宮市立こども 未来センター	池上 隅倉 池田
2/24	フレームワークを活用した自 閉症支援	ライフサポート協会	住吉総合福祉 センター	花本 佐藤

上記の研修以外に、自己研鑽のため、個人での研修参加や自主勉強会の開催などを行った。

### 【会議等】

会 議 名	回 数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月第3月曜日 (管理者・主任)
職員会議	12	毎月第1木曜日 (管理者、職員)
ケース会議	12	毎月第3木曜日 (管理者、職員)
調整会議	48	毎週水曜日 (管理者、主任、リーダー)
給食会議	12	毎月第3月曜日 (管理者、担当職員)

#### \*その他

- ・虐待防止委員会 2回 (管理者、主任、サビ管)
- ・虐待防止委員会事務局会議 12回 (管理者、主任)
- ・虐待防止委員会研修委員会 12回 (各委員)
- ・虐待防止委員会マニュアル作成分科会 12回 (各委員)
- ・第三者委員会 2回 (管理者、主任)
- ・所属長会議 24回 (管理者)
- ・市内施設長会議 12回 (管理者)
- ・日中事業者連絡会 (管理者)
- ・家族会 6回